

## 01 長期学校改築計画の進め方について

- ・計画づくりの間にも少子化はどんどん進むので早急に。
- ・これから入学の家庭には、どこに住むかに関わってくる。
- ・計画にどれくらいの期間を想定しているのか。
- ・大きなスケジュールや構想を示し議論すべき。
- ・基本方針を理解し、次の検討組織に期待する。
- ・市民、地域の意見を積み上げながらスムーズに進むように。
- ・もっと先までの児童生徒数の推計が必要。
- ・世帯数や世帯ごとの子どもの数の推移のデータも必要。
- ・説明機会の設定や事前周知に工夫が必要。
- ・説明会に参加できない人の声も聞いてほしい。

## 02 学校再編について

- ・教育委員会から具体案を示すべき。
- ・通学距離が遠くなることに配慮して欲しい。
- ・教育の効果は人数で決まるものではない。
- ・望ましい学校の姿＝（いきなり）再編とならないように。
- ・同一区内複数学区の問題だけでも早急に解消して欲しい。
- ・適正規模の再編を図った実践例を参考にしているかどうか。
- ・学校には地域のコミュニティの機能がある。
- ・多様化への対応には分散化も必要。
- ・小規模校のよさを活かし特区等による存続を検討して欲しい。
- ・小中一貫や再編に解決要素があるということか。
- ・進めなくてはならない。
- ・小さい学校には小さい学校の良さがある。

## 03 小中一貫教育について

- ・小中一貫校についてはどのように検討していくのか。
- ・小学校区ごとに小中一貫校を。
- ・小中一貫教育に疑問を感じる。
- ・賛成。
- ・小諸では規模が大きすぎて現実的でない。
- ・中学校を3つ以上に分けて小中一貫はどうか。
- ・魅力もあるが、疑問もある。

## 04 校舎の長寿命化について

- ・再編校以外の改修、改築もきちんとお願いしたい。
- ・今現在の子どもや先生方の環境整備もしっかりお願いしたい。
- ・校舎を長く使うことに賛成、ただし慎重に。
- ・老朽化している校舎の建て替え計画はどう進めるのか。

今回の懇談会終了後、9月下旬に市民全体を対象とした会議を開催し、基本方針をまとめます。その後、年度内に各分野の専門家による学校再編検討委員会を組織していく予定です。

その先の検討期間は未定ですが、ていねいに一定のスピード感を持って進めていきます。

並行して年度内に、学校施設の更新に要する費用や、児童生徒数の長期的な将来推計値といった基本的なデータを示していきます。

次の検討段階においてもこの制度の研究を行い、小諸市での可能性について検討します。

今年度、建物などの劣化度調査を行い、「耐用年数」や「改修費用」、「改修と改築のどちらが適正か」などを検討していきます。

# 長期学校改築計画に関する懇話会

6会場での懇談会を受けての今後の進め方について

※どなたでもご参加いただけます。